

アプトポッド、Liberaware と建設施工管理、設備メンテナンス向けの デジタルツインソリューションで協業

360° 動画ストリーミングから 3D データを自動生成し、工程管理やメンテナンスを遠隔化



株式会社アプトポッド（代表取締役：坂元 淳一／以下、アプトポッド）は株式会社 Liberaware（本社：千葉県千葉市、代表取締役 関 弘圭、以下「Liberaware」）と、アプトポッドが開発販売する産業向け的高速データストリーミング基盤『intdash』と Liberaware が開発する動画から 3D データを自動生成可能な『LAPIS（ラピス）』を連携することで、ロボットやドローンから収集した映像を自動的に 3D データに変換し建設施工管理、及び設備メンテナンスにおけるデジタルツイン化を実現する連携ソリューションで協業いたします。

背景

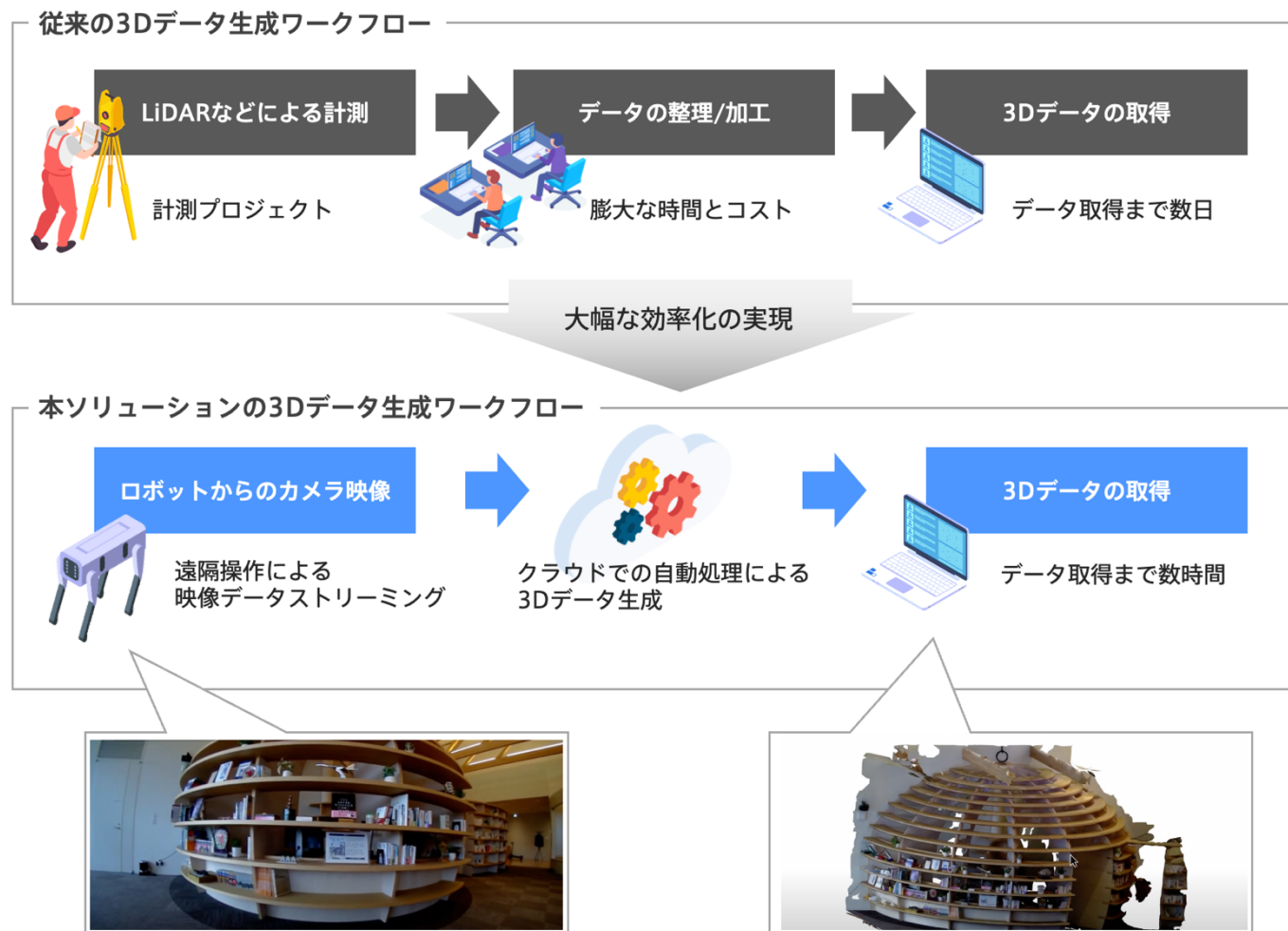
昨今、建設業を中心にあらゆる産業において労働人口の減少傾向にあり、現場での省人化、効率化が求められています。本ソリューションでは 3D データを用いたデジタルツイン化により、建設施工における出来形確認、プラントやインフラ設備での点検業務の遠隔化とワークフローの自動化を実現し、業務効率向上を目指します。

本ソリューションの概要

intdash は高速双方向のデータストリーミング環境を構築し、ロボット/ドローンの遠隔操作、及び機体からのデータ収集を行うことが可能です。また LAPIS は独自エンジンにより、映像データから 3D 点群や各種 3D データを自動生成することができます。本ソリューションは遠隔操作するロボット/ドローンからストリーミングされる映像データを LAPIS に自動転送し、LAPIS の 3D データ生成エンジンにより様々なフォーマットの 3D データを自動生成することで、データ収集から 3D データ生成までのワークフローの遠隔化・自動化および時間短縮を可能にします。



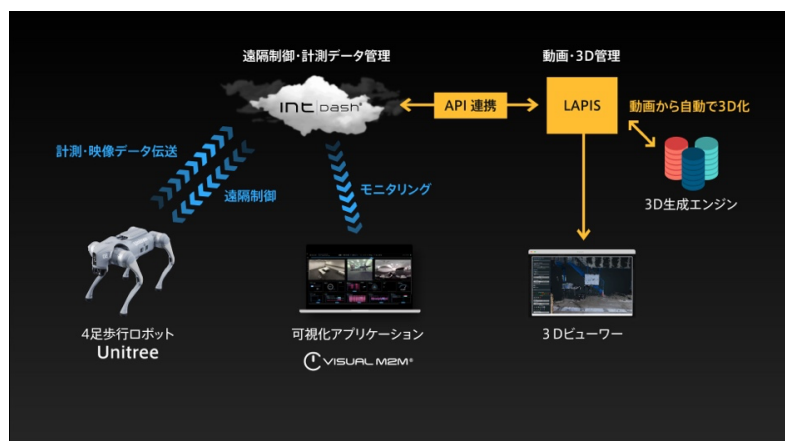
本ソリューションにより、従来のワークフローに比べ、3D データ取得にかかるコスト効率化や所要時間の短縮を実現します。またロボット・ドローンの遠隔操作によるデータ収集が可能なため、狭所や危険エリアなど、人が入りにくい箇所でのデータ収集が可能となります。



本ソリューションによるデモンストレーション動画

本ソリューションを使って、遠隔制御された4足歩行ロボットに搭載した360度カメラ映像から自動で3Dデータを作成するデモンストレーションを動画でご紹介します。

YouTube リンク：https://youtu.be/xhEJ_XZDLnA

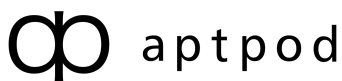


今後の展望

アプトポッドと Liberaware は、両者の IoT 技術とデータ解析技術を組み合わせたソリューションを進化させ、建設、プラント、インフラ分野など、幅広いお客様に向け、デジタルツインによる効率化をご提案してまいります。

株式会社 Liberaware について

株式会社 Liberaware は、「誰もが安全な社会を作る」をミッションに掲げ、世界でも珍しい「狭くて、暗くて、危険な」かつ「屋内空間」の点検・計測に特化した世界最小級のドローン開発と、当該ドローンで収集した画像データを解析し顧客に提供するインフラ点検・維持管理ソリューションを行っております。弊社は、ビジョンでもある「見えないリスクを可視化する」ことに邁進し続け、人々に安全で平和な社会をお届けします。



<https://www.aptpod.co.jp>

株式会社アプトポッドについて

アプトポッドは高速双方向なデータストリーミング技術をベースに、産業向けの高速IoTプラットフォームミドルウェア、及びクライアントアプリケーションからエッジハードウェアまでワンストップに開発・提供するテクノロジー企業です。自動車、ロボット、建機、農機など、様々なモビリティや産業機器をクラウドへリアルタイム接続し、高精細な遠隔データ収集と分析、リアルタイム監視、遠隔制御、およびデジタルツインの実現など、革新的な産業DXに貢献しています。

本リリース/製品等に関するお問い合わせ

株式会社アプトポッド

東京都新宿区四谷 4-3 四谷トーセイビル 3F

<https://www.aptpod.co.jp/contact/>

Copyright(C) 2024 aptpod, Inc.※「intdash（イントダッシュ）」および「Visual M2M（ビジュアルエムツーエム）」「EDGEPLANT（エッジプラント）」はアプトポッドの登録商標です。※記載されている会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。